

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度 第 3 回飯塚市図書館運営協議会
開催日時	平成 30 年 3 月 27 日 (火) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
開催場所	イツ コミュニティセンター 3 階 学習室 3 0 1
出席委員	後藤委員・白瀧委員・八尋委員・高田委員・田中委員・木村委員・北富委員
欠席委員	有門委員・平野委員・野田委員
事務局職員	【指定管理者（図書館流通センター）】芳野館長・坂田 【教育委員会】高瀬生涯学習課長、原生涯学習課長補佐、 平田生涯学習・図書館係長、田中
	<p>1 開会 10:00</p> <p>2 教育委員会あいさつ 高瀬課長あいさつ</p> <p>3 議事（報告・協議事項）</p> <p>（1）図書館業務報告について</p> <p>平成 29 年度の図書館運営業務について図書館（指定管理者）より説明。 利用状況の推移、主な事業（各種講座等、お話会等、団体貸付、訪問事業、各種研修、各種会議、ブックスタート実施報告等）の実施状況について報告。</p> <p>【A委員】3月末に小倉南図書館がオープンした。最近今までの図書館のかたちにこだわらない新たな形態の図書館が多くできている。研修として他の図書館の見学に行ったことがあるか。</p> <p>⇒研修として見学に行ったことはない。職員が個人的に所用等で外出した時に他の図書館の様子を見てくることはある。研修としては県立図書館に行っているが、今後積極的に他の図書館の情報収集を進めていきたいとは考えている。</p> <p>【A委員】魅力的なイベントを行っている図書館も多くなってきた。例えばワークショップ等も含めてイベント多く実施してほしい。</p> <p>【B委員】職場で飯塚市の子どもたちの記事を切り抜いてストックしている。飯塚市の記事は一定期間にまとまってたくさん出てきている気がする。図書館の記事はイベント予告はあるが、事後の内容のものが少ない。</p> <p>今後イベントを実施するなら、事後に記事で取り上げられることを想定したネーミングをしてはどうか。例えば「クイズ」というよりも「なぞとき」の方が子どもたちの関心を引くと思う。人の目の循環を意識した方がいいと思う。</p>

⇒事後の周知や報告については工夫が足りない部分があった。

【B委員】 前回の参加者の評価を次回の告知の時に載せてはどうか。

【A委員】 興味がない人へのアピールが下手なのではないかと思う。情報はきっちりと書いてあるが面白味がない。外部の力を利用してチラシやポスターを作成してはどうか。

【C委員】 外部の力を活用して講座等の周知をしているところもある。直方市図書館は認知症カフェを実施しているが、確か小学生向けの周知もしている。

【D委員】 若い人は新聞を取っていない。チラシも図書館に行かなければ見られない。子ども向けのイベントなら小児科、幼稚園、保育所（園）においてはどうか。

⇒ホームページでの取組みはしているが、もっと工夫していきたい。チラシについてはアドバイスを外部からいただいている。委員のご意見を参考に、外部の力の活用をもっと検討していきたい。

(2) 飯塚市子ども読書活動推進計画について

市から推進計画の進捗状況把握のために設置する「飯塚市子ども読書活動推進計画推進委員会」の設置要綱を提示し、3月26日に第1回会議を開催したことを報告。当該会議にて了承を得た進捗状況把握のための調査・アンケートでの対象となる項目を資料に基づき説明。今後、この内容を反映した調査票を作成し、市内の小中学校及び就学前児童関連施設等へ発送することを報告。調査・アンケート結果については次回以降の運営協議会で報告。

【C委員】 ここまで検討していただいたならありがたい。今まで進捗状況については把握されていなかった。

【D委員】 細かに分類されており状況把握はある程度できると思う。毎年この内容で調査するのか。

⇒調査項目については随時検討したい。調査対象者の負担にならないよう配慮はするつもりでいる。

【A委員】 団体貸付について聞きたい。今は就学前児童関連施設への団体貸出はないようだが、汚損、破損した場合は弁償しないといけないのか。

⇒団体貸付では弁償は問わない。特別貸付の場合は、汚損、破損は弁償が生じる。今回の調査・アンケートで就学前児童関連施設での特別貸出等の利用意向は把握したうえで、実施が可能か検討する材料としたいと考えている。

【A委員】 弁償とか貸出の方法が言いたいのではなく、私立の施設にも調査をかけますよね。調査後にどうするかということをおきたい。子どもたちの日常に本が必要だと伝えて欲しい。調査・アンケートの趣旨説明にそうした意味のことを記載してほしい。

⇒反映させる方向で検討する。

(3) 庄内まちづくりワークショップ（仮称）の設立について

飯塚市と近畿大学産業理工学部及び庄内まちづくり協議会の三者で庄内公民館の移転統合について検討をするワークショップを設立することになった。庄内図書館の老朽化や管理面での課題への対応のため別途近畿大学へリノベーションへの参画をいらいしていたこともあり、生涯学習課もこのワークショップに参加することとなった。今後のスケジュール等を説明。

【A委員】資料で見るとかぎりワークショップのメンバーに行政関係者が多い。市民の意見を反映した方がいいのでは。リノベーションは行政だけでは難しい。

⇒庄内まちづくり推進協議会がメンバーとして入っており、ここが市民の意見ということになるかと思うが、今いただいたご意見のとおり可能な限り行政的な観点のみにならないように留意する。

(4) その他

①飯塚市立図書館関連例規一覧について

第2回運営協議会でも言及していた図書館運営関連の諸規定について、指定管理者と綿密に協議した結果、提示している資料を確定版とする旨を伝えた。第1回運営協議会で提示した内規については既に無効であることを改めて報告するとともに、事務局の理解不足により不要な資料提示により混乱を招いたことを謝罪した。今後はこれらの要綱・要領に基づき運営していく。

②学習ボランティア派遣事業の就学前児童関連施設での実施について

平成30年度予算において、学習ボランティアの派遣先に公立・私立を問わず就学前児童関連施設が対象となることを再度報告。今後該当の施設には説明を行っていく予定。図書館ボランティアの活躍の場が増えるように努力したいと伝えた。

③図書館業務所管係の変更について

平成30年4月1日より市の組織変更により、図書館業務は生涯学習・図書館係から中央公民館・図書館係（現中央公民館係）へ移管することを報告。中央公民館は公民館・図書館・女性センターの一体型複合施設であり、施設管理の観点を含めこの体制の方が効率的ではないかとの判断に基づく。中央公民館係は課長補佐が係長兼務であったが、中央公民館・図書館係では専任の係長職が設置されることもあわせて報告した。

以上

次回開催予定 6月開催予定。

4 閉会 11:30

<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 平成 29 年度図書館利用状況・業務報告 ・ 飯塚市子ども読書活動推進計画推進委員会設置要綱 ・ 飯塚市子ども読書活動推進計画の概要 ・ 関係施設への調査・アンケート内容について ・ 庄内まちづくりワークショップ（仮称）の設立について ・ 飯塚市図書館関連例規一覧
<p>公開・非公開の別</p>	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	